

2021 年 3 月 31 日

2020 年度「多摩地域市民活動公募助成」助成事業実施報告書

団体名 バイリンガル・マルチリンガル子どもネット

代表者・役職名 氏名 代表 中島 和子

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

バイリンガル・マルチリンガル子どものサポート勉強会 2020

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期＝法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

複数の言語環境で育つ子どもの言語の問題を抱える親達を支援する為に、支援者・教師・研究者が中島和子を中心にグループを立ち上げました。2016 年バイリンガル・マルチリンガル(BM)子どもネットとして国際基督教大学で初回勉強会を開催し、100 人近い研究者、学生、地域の支援者、教員などが集まりました。その後相談員室を設け言語にかかわる相談受付を開始しました。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

BMCN は、多言語環境にある子どもを、グローバル時代が必要とするバイリンガル・マルチリンガル人材に育てるお手伝いをする会です。多言語環境とは家庭内の言語と現地のことばが異なる場合や、国際結婚家庭の子女のように両親のことばが異なる環境のことです。子どもの自尊感情を高めて、さまざまな困難に前向きに立ち向かい、国内外で活躍できる子どもの育成を目指しています。

そのために、多言語環境で育つ国内外の子どもの言語発達についての研究協力および情報交換を促進し、子どもの言語発達に寄与します。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

勉強会を 2 回:コロナの影響で講義は ZOOM で開催 チャットで質問を受け付けました。

- ① 講師:北洋輔先生(子どもの発達研究。国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)外国にルーツを持つ子ども達の発達のメカニズムを理解しつつ家庭では子どもの母語、学校では日本語で育つ子どもに対して具体的にどのような支援が有効であるかの講義。
- ② 講師:咲間まり子先生(東京純心大学 現代文化学部 こども文化学科 教授 実習指導センター長)就学前の幼児にとって言語形成がいかに大切であるかということを解説。日本

の社会も今後ますます多様化していくが、子ども達が日本社会の大切な社会資本となりうるような教育のサポートの実現に向けての講義を行いました。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの「効果」 300文字程度まで

①参加者:47名 多摩地域からZOOMで発信。日本国内、アメリカ、ヨーロッパ、アジアから参加。読み書きの重要性、発達過程、つまずきリスクの早期発見と支援の基本的な姿勢と具体的な方法についての話がありました。「言語か発達か」、「障害か否か」といった二値的な見方にとらわれるのではなく、子どもの発達の全体像を捉える事や多言語環境に育つ子どもにとっての大事なことを学ぶことができました。

②参加者:69名。ZOOMで開催。世界各国から参加。子どもの成長に伴い家庭支援・社会支援から、母方母語・文化の継承にいたる幅広いニーズを明確化できました。多様なルーツをもつ人々が「共に生きる」ことができる社会に貢献できるヒントを得ることができました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

多言語環境における子ども達の環境はまだまだ未知数の状況がありそれぞれの現場の実践者が手探りの状況で対応していることが分かりました。また悩んでいる人たちはどこで誰に相談したり、質問できるのかもわからず困っていることが多いこともわかりました。これからも様々な方法で理論、実践やアドバイスを中心に勉強を進めていく機会を期待されていることを実感しました。また、よりよい支援を実践するためには言語分野だけではなく発達・心理面を含めた専門的な知識を身に着ける必要があると感じます。また、複数言語の環境において困難を抱えている支援者と子どもがいることを社会に発信をしていく必要性も感じました。

7. 参考資料

- ① 第1回勉強会案内のチラシ
- ② 第2回勉強会案内のチラシ

参考資料あり・特になし



バイリンガル・マルチリンガル (BM) 子ども相談室 第3回ミニ勉強会
2020年8月1日(土) @オンライン開催 (Zoom ミーティングを利用)

<ミニ勉強会：多文化多言語環境の気になる子どものための会>

参加者：多言語環境にある子どもの学習支援に関心をもっている方 20名

内 容：昨年の研究会の続き

「幼児期の子どもの読み書き基礎能力のアセスメントと力を伸ばすための働きかけ」

紹介文：昨年の研究会より早一年が経とうとしています。COVID-19の影響で皆さんの環境も大きく変わられたのではないかと思います。そんな中でも子どもたちへの指導は待たなしに続けなければなりません。BMCN 子どもネットでは多言語環境にいる子どもに関しての相談室を開設しています。相談室が内部での勉強会を計画しています。第3回目の8月の勉強会に外部からの希望者20名を受け付けたいと思います。直前のお知らせですが参加ご希望の方はご連絡ください。希望者が多い時は抽選とさせていただきます。勉強会でお互いの疑問をぶつけあい学びあいましょう。

講 師：北 洋輔 氏

■講師プロフィール

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 知的・発達障害研究部 発達機能研究室室長、ヘルシンキ大学医学部客員研究員、教育学博士、臨床発達心理士・特別支援教育士スーパーバイザー 臨床業務として、病院・園・学校を中心に発達障害のある子ども・大人の心理評価、指導支援および保護者の対応。園や小学校などの先生方へ、気になる子についての助言。

【著書】 ・『発達障害の心理学』（執筆・編者：福村出版 近日刊） ・『顕在化しにくい発達障害の早期発見と支援に向けて』（分担執筆：日本発達障害学会） ・『成長し衰退する脳』（分担執筆：新曜社）等。

開催日：2020年8月1日(土)

開催時間：9:30～11:30 (受付9:20)

参加費：無料

外部からの受付定員：20名 定員を超えた場合は抽選

参加方法：次の申し込みフォームからお申込みください。前日の7月31日に、Zoom ミーティングへの招待のメールをお送りいたします。8月1日(土)開催時間になりましたら、そこに記されているURLにアクセスして、ミニ勉強会に参加してください。

申込フォーム：[こちら](https://forms.gle/jijBxm5YcJ7oEE8) <https://forms.gle/jijBxm5YcJ7oEE8>

申込期限：2020年7月25日(土曜日) 日本時間 24時まで

問い合わせ：BMCN 事務局 (鈴木・高橋)

Email bmkodomonet@gmail.com

真如苑の助成を受けて開催

第4回ミニ勉強会（オンライン開催）**テーマ「多文化保育における母語について一保育の専門家に聞く」**

開催日時：2021年2月20日（土）午前10:00～12:00（受付9:40）

開催形式：オンライン（Zoom）開催 **参加費：**無料

参加者：多言語環境にある乳幼児・子どもの支援に関心をもっている方 20名

多言語環境の子どもの支援は、主に学齢期に入ってから、早くてもその直前から行われ、学業がうまくいっているかどうかに関心がおかれることが多いです。しかし、子どもの発達はそこから始まるわけではなく、小学校に入る前の生活環境や教育環境からも大きな影響を受けます。そこで本勉強会では、乳幼児期の子どもの発達と教育を支える保育の世界では、多言語の子どもに関してどのような課題があるか、多文化保育、社会教育学の専門家にお話しいただきます。それを踏まえて、私たちにどのような取り組みができるか、どのように学校教育の世界と母子保健や保育の世界との連携が可能か、意見を交換したいと思います。

講師メッセージ：子ども達の成長にともなう保護者の子育てストレスや家族支援・社会支援から、母方母語・文化の継承にいたる幅広いニーズを明確化し、多様なルーツをもつ人々が、真に社会の一員として「共に生きる」ことができる社会を望んでいます。（公式ウェブサイトより）

講師： 咲間 まり子 氏

■講師プロフィール

〔講師公式ウェブサイト URL: mariko.club より〕

東京純心大学教授、実習指導センター長。保育原理、子どもと多文化共生、保育実習指導等を担当するほか社会貢献活動・執筆活動多数。令和2年～3年度には公益財団法人いきいき岩手支援財団いわて保健福祉基金助成金「技能研修生と高齢者との交流がもたらす効果を考える事業」

【研究・著書等】『保育者のための外国人保護者支援の本』（監修、2020）、『特別支援教育・障害児保育入門』（編著、2020）、『多文化保育・教育論』（編著、2020）、「多文化保育の視点とは」（全国社会福祉協議会『保育の友』第68巻8号2020年7月pp8-13）、「国際結婚における母方母語と文化の継承における実践的検証-岩手県における在日外国人の動向を通して-」（三菱財団研究・事業報告書2012年6月188頁）

プログラム

10:00 開始、スケジュール・質問の仕方の説明、講師紹介(10分)

10:10-11:30 講義 (80分)

11:30-11:40 休憩（先生への質問をチャットに記入する時間）（10分）

11:40-12:00 質疑応答（20分） 12:00 終了

参加申込：こちらのフォームからお申込みください。 <https://forms.gle/jijBxm5YcJ7oEE8>

締切：2021年2月13日（土曜日）日本時間17時、定員を超えた場合抽選。

（抽選にもれた方でご希望の方には、講義資料と報告書を後日お送りします）

留意事項：①Zoom ミーティング招待は2月19日に送ります。

②参加者リスト（お名前と所属）と講義資料を参加者に共有します。録画・写真は不可。

問い合わせ：BMCN事務局（鈴木・高橋）Email bmkomonet@gmail.com

相談室ウェブサイト URL: <https://sites.google.com/view/bmcn/BMCN-R>

※本勉強会は真如苑の多摩地域市民活動公募助成を受けています。